

体育の授業中に突然死をきたし肥大型 心筋症が強く疑われた高校生の1例

おお はた しゅう ぞう は ね だ のり ゆき
大 畑 修 三¹⁾ 羽 根 田 紀 幸²⁾
いし はら しん 加 とう せつ し
石 原 晋³⁾ 加 藤 節 司¹⁾

キーワード：突然死，肥大型心筋症，学校検診

要 旨

平成7年度，児童，生徒の心臓検診に心電図検査が義務化されて以来，全国的には突然死は減少傾向にあるものの皆無ではない。

今回，学校の内科検診及び心電図検診において異常を指摘されていなかったが，体育の授業中に突然倒れ，突然死をきたした症例を経験したので報告する。

症例は17歳，高校2年生の男子。生来健康で，その年の学校内科検診および1年半前の学校心電図検診においても異常を指摘されていなかった。突然死の家族歴もなく，部活動，体育の授業も通常通り行ってきた。しかし体育の授業中に突然倒れ，近くの救急指定病院に救急搬送された。残念ながら救命はできなかったが，心臓超音波検査にて著明な左室心筋の肥厚を認め，肥大型心筋症が考えられた。

はじめに

平成7年度，児童，生徒の心臓検診に心電図検査が義務化されて以来，全国的には突然死は減少傾向にあるものの皆無ではない。

平成11年から平成21年までの突然死の発生状況は，年間35-83件で推移しており，死亡全体のおよそ57%を占めている¹⁾。

また突然死のうち約71%は心臓系疾患で占められていると言われている¹⁾。

今回，学校の内科検診及び心電図検診において異常を指摘されていなかったが，体育の授業中に突然倒れ，突然死をきたした症例を経験したので報告する。

症 例

患者：17歳，男性。

主訴：突然の意識消失

現病歴：平成22年11月18日午前11：20頃，体育の授業中にランニング終了後サッカーゴール前に

Shuzo OHATA et al.

1) 社会医療法人仁寿会 加藤病院

2) 医療法人 どれみクリニック基常小児科

3) 公立邑智病院

連絡先：〒696-0001 島根県邑智郡川本町川本383-1